

\*\*\*\*\*  
\*\*  
\*\* 対象機種名 FMVシリーズ \*\*  
\*\* システム名 Windows 2000 / Windows XP / Windows Server 2003 \*\*  
\*\*  
\*\* 瞬快Rel.6.0 修正モジュール \*\*  
\*\*  
\*\* 応急修正説明書 \*\*  
\*\*  
\*\* 2008年 1月 株式会社 富士通四国システムズ \*\*  
\*\*  
\*\*\*\*\*

本修正は、特定の不具合を回避するための、修正モジュールです。

瞬快は株式会社富士通四国システムズの登録商標です。  
Microsoft, Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

All Rights Reserved, Copyright (C) 株式会社富士通四国システムズ 2004-2008

## 0. ご提供するモジュールについて (必ずお読みください)

### [モジュール提供情報]

- ・ scwrepair60.pdf . . . . . 実施時の留意事項、製品固有の説明 (本書)
  - ・ repair-r60.exe . . . . . 瞬快Rel.6.0向け 修正適用モジュール
  - ・ repair-r60a.exe . . . . . 瞬快Rel.6.0a向け 修正適用モジュール
- 修正モジュールは自己解凍形式となっています。

### 1. 修正内容

ディスクイメージ配信処理において、イメージ配信処理に失敗したり、配信先クライアントが突然再起動する現象が発生する。

### 2. 修正モジュール一覧

	ファイル名	ファイルサイズ	ファイル日付
Rel6.0 向け	fjimqbrs.exe	947,031(byte)	2008年1月7日、14:10:08
Rel6.0a向け	fjimqbrs.exe	947,031(byte)	2008年1月7日、12:25:28

ダウンロードされたファイルを解凍すると、上記ファイルが展開されます。

### 3. 適用条件

- ・ お使いの瞬快のバージョンレベルがRel.6.0であることをあらかじめご確認ください。  
それ以外のバージョンレベルではご使用になれません。

#### ご注意

当修正モジュールは、Rel.6.0とRel.6.0a以降の2種類の修正モジュールが存在します。以下の方法でご利用の製品レベルをご確認ください。

#### 《バージョンレベルの確認方法》

- 1) 瞬快CDROMを挿入して下さい。  
エクスプローラ等でCDROMの選択し、直下のディレクトリに存在するのREADMEを選択します。
- 2) 表示される README.TXT の冒頭部分を確認してください。  
「瞬快(グレード名) Rel6.0」 or 「瞬快(グレード名) Rel6.0a」  
と表示されていれば、本応急修正の適用対象です。  
バージョン名の直後のアルファベットは、a,b,c,d,eとご利用のレベルによって異なります。

- ・ 管理機能の動作中には適用できません。  
終了させてからアップデートを行ってください。
- ・ ウィルスバスターなどのウイルス検索ソフトウェアを起動中の場合は、必ず終了させてください。また、不要なプログラムはすべて終了させてください。
- ・ ローカルコンピュータに対して管理者権限を持つユーザ (Administrator など) でログオンして修正モジュールの適用を行ってください。
- ・ 修正モジュール適用時には、システムリカバリ機能で実行中の全てのサービスがキャンセルされます。サービスが実行されていないことを確認した後、モジュールの適用を行ってください。

### 4. 適用方法

#### (1) 修正モジュールの適用方法

システムリカバリサーバ上で以下の手順に従って、3で確認したバージョンと一致したモジュールを適用してください。  
応急修正モジュールは自己解凍形式(修正モジュール.EXE)になっていますので、作業フォルダに解凍後、修正適用を行ってください。

- 1) 修正対象モジュールの更新日時を確認します。

本応急修正では、次のファイルを置き換えます。

<インストールフォルダ>%ftp%agent%dos%fjimgrs.exe

応急修正適用前に、上記モジュールの更新日時を確認してください。

- ・ Rel.6.0 : 「2007年2月 8日、16:27:10」
  - ・ Rel.6.0a以降 : 「2007年5月17日、14:37:12」
- あることを確認してください。

上記以外の場合には、本応急修正の適用対象ではありませんので、以降の処理は実施しないでください。

更新日時の確認は以下の手順に従い実施します。

- a) 修正対象ファイルをマウス・ポインタで選択し、右クリックを押下します。
- b) 表示されたメニューから「プロパティ」を選択します。
- c) [全般] タブを選択し、更新日時 を確認します。

2) 修正対象モジュールを別の名前に変更します。

本応急修正では、次のファイルを置き換えます。  
以降の処理に進む前に、別の名前に変更し退避しておくことを推奨  
します。

<インストールフォルダ>%ftp%agent%dos%fjimgrs.exe

例) 下記はデフォルトのフォルダにインストールしている場合です。  
記述上2行に渡っていますが、実行する際は1行で入力してください。

```
C:>ren "C:\Program Files\SystemRecovery Server\%ftp%agent%dos%fjimgrs.exe"  
fjimgrs.old
```

- 3) 作業フォルダ(C:\WINDOWS\Temp など)に、ご利用のバージョンと一致した  
自己解凍ファイルをコピーします。
- 4) 作業フォルダにコピーした、自己解凍ファイルを実行します。  
修正モジュールが解凍されます。
- 5) 解凍した修正モジュールを所定の場所にコピーしてください。

[修正モジュール]

- fjimgrs.exe

[コピー先]

- <インストールフォルダ>%ftp%agent%dos%fjimgrs.exe

例) 下記はデフォルトのフォルダにインストールしている場合です。  
記述上2行に渡っていますが、実行する際は1行で入力してください。

```
C:>copy C:\WINDOWS\Temp\fjimgrs.exe  
"C:\Program Files\SystemRecovery Server\%ftp%agent%dos"
```

6) 応急修正適用後、対象モジュールのバージョンを確認します。

上記手順に従ってモジュールを置き換えた後、適用したモジュールの更新日時が  
以下の日付であることを確認します。

- ・ Rel.6.0 : 「2008年1月7日、14:10:08」
- ・ Rel.6.0a以降 : 「2008年1月7日、12:25:28」

7) 以上で、必要な処理は終了です。

- 以上 -